

取扱説明書

快天浴フェンス

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくために必ず、この取扱説明書をお読みください。

施工業者の方へのお願い

大切な書類です。施工後は必ずお客様にお渡しください。

本文中の  禁止、 注意 の表示箇所は特に重要です。必ず読んでお守りください。
守られない場合、思わぬ事故につながり、ケガをする恐れがあります。

禁止

- ◆本製品は隣地との境界を示す目的に使用するものです。転倒防止を目的とした防護柵、歩行補助を目的とした手すりとして使用しないでください。
- ◆事故や故障の原因となりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。
- ◆ケガや事故の原因となりますので、製品を破損・故障・変形したままで、使用しないでください。
- ◆破損や事故の原因となりますので、重いものを乗せたり、寄りかかったり、ぶら下がらないでください。
- ◆破損や故障の原因となりますので、強い衝撃を与えないでください。
- ◆変形や火災の原因となりますので、火気を近付けなでください。
- ◆変形や変色の原因となりますので、アルコール以外の有機溶剤や石油類を付着しないようにしてください。

スライドパネルについて

- ◆小さなお子様や、ご家族以外の操作方法を理解されていない方の操作は、大変危険です。必ず、操作方法を理解された方が操作してください。
- ◆風の強い日には開(オープン)の状態にしてください。

スライドパネルの操作について

- ①両手で操作枠の下枠を持ちます。



- ②操作枠を持ち上げると、隙間が現れ開(オープン)となります。



- ③親指でスライドロックを回転させます。



- ④親指でスライドロックを下枠と平行に戻します。両手でゆっくりと下へおろすと閉(クローズ)となります。



★快天浴フェンスは、簡単施工！差し込むだけで美しいフェンスが仕上がります。
 素材は数多くの特長を持ち、一般住宅でも広く使われております。

- このたびは、当社製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたやほかの人々の危害や損害を未然に防止するものです。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

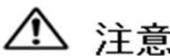
安全に関する記号

記号の意味



警告

- 取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

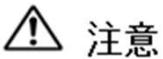
- 取扱を誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容または物的損害のおそれがある内容を示しています。

<施工の前に>



警告

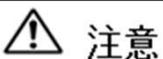
- 本製品は隣地との境界を目的に設置するものです。転倒防止を目的とした防護柵、歩行補助を目的とした手すり等として使用しないでください。
- 本製品の施工には専用の柱を使用してください。使用しない場合、本体の伸縮により反り・割れが生じる場合があります。



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

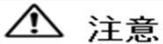
<施工上のご注意>



注意

- できる限り施工前に太陽光に当てないで下さい。部材が伸縮するおそれがあります。
- 強い衝撃を与えないでください。変形やキズ付きの原因となります。
- 本製品の化学的性質は弱酸性・アルカリ・塩類等には優れた抵抗性を持っています。
 アルコール系以外の有機溶剤や石油類に侵されやすいので、触れると変色する原因となります。
- 火気があたり続けると軟化や融解をします。火気は近付けないでください。
- 製品の特性上、本製品には色差・色ムラがあります。
- 本製品の取付については、取付説明書を必ずご確認ください。
- 柱のピッチは1000mmで施工してください。
- 本製品専用品を使用して、施工してください。
- そのまま板を差し込むだけで施工できます。
- ブロック上に設置の場合、ブロックの穴と合わない場合があります。
 別途ブロックに穴を開けるか、穴が合うブロックをご使用ください。

■梱包明細



- 開梱時に部品の種類・数量をご確認ください。
- 商品に異常がないことをご確認ください。

1 柱+アルミ枠

名称・略図		数量(柱1本当り)					
		部材	仕様	中間柱	端部柱	コーナー柱	
		柱本体	PS材+アルミ角パイプ	1	1	1	
		柱キャップ	柱キャップ	70角用	1	1	1
			取付ネジ	φ4x25ドリルネジ	1	1	1
		アルミ枠	アルミ枠	木目調シート貼り (オフホワイト、ダークブラウン除く)	2	1	2
			スペーサー	20x10xL40 両面テープ付	基本寸法表x本数分		
			取付ネジ	φ4x30皿ドリルネジ			
			枠部品上	高さ30mm(キャップ)			
			枠部品下	高さ30mm			
		枠部品ネジ	φ4x25ドリルネジ	4			
				中間柱	端部柱	コーナー柱	
		アルミ枠	木目調シート (オフホワイト、ダークブラウン除く)				

取付・取扱説明書

1

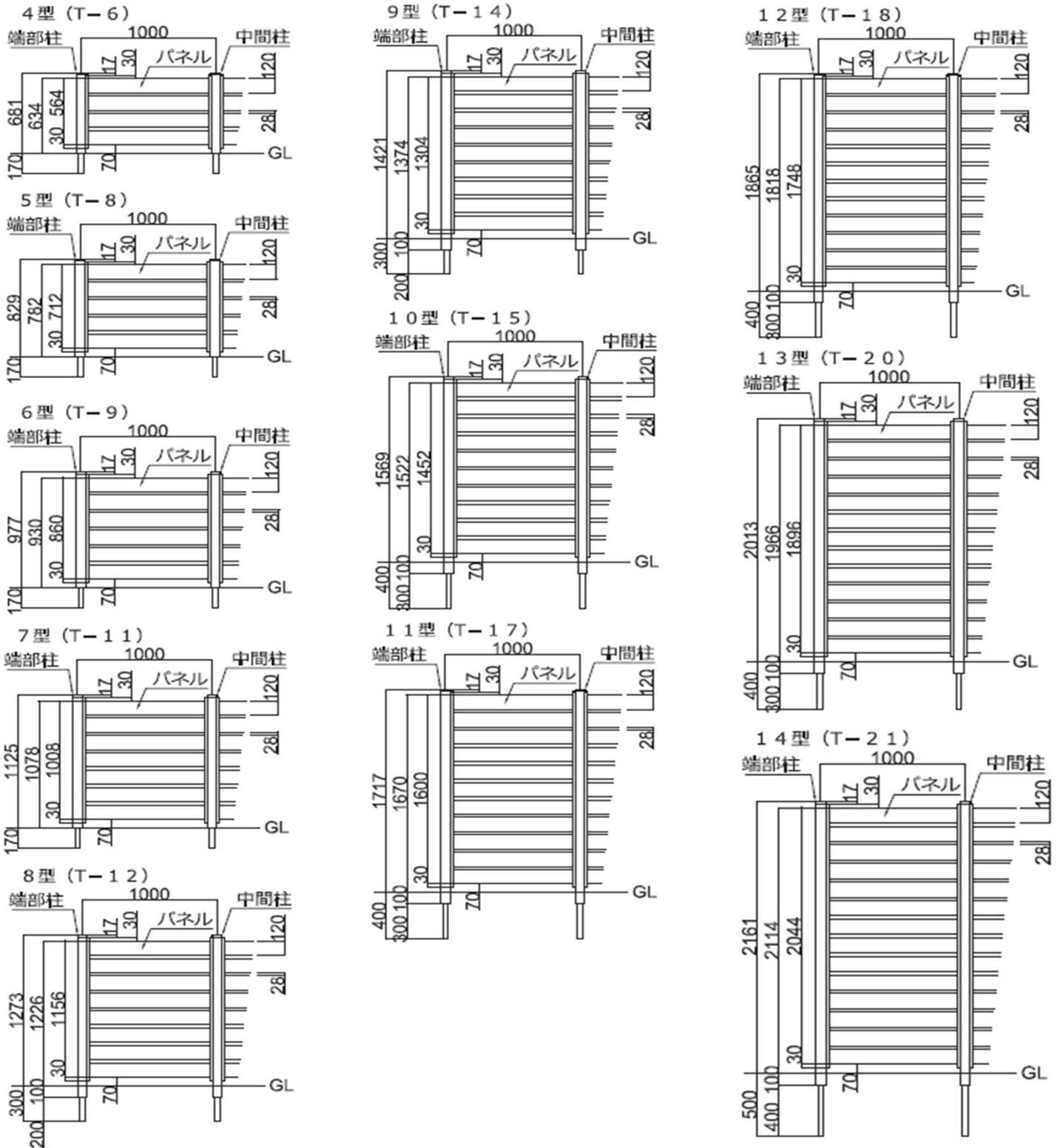
2 パネル部材

名称・略図		必要数(1スパン当り)			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">120板</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">45板x2枚</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ルーバー3枚</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">スライド(固定側)</div> </div>		スライド以外	最上段	1	
		取合用	1 ※目隠しタイプの上段に他のパネルを取付ける場合に必要		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">基本</div> </div>		固定側	最上段	1	
		固定側	基本	可動段数-1	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">120板+45板</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">45板x4枚</div> </div>		スライド	4~6段用	1	
			可動側	調整材	スライドの上段に他のパネルがある場合に使用。スライドが最上段の場合は不要。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">取合用※</div> </div>			<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">調整材</div> </div>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">基本</div> </div>			<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">可動側</div> </div>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4段用</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5段用</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6段用</div> </div>					

■基本寸法

代表例：120板タイプ(隙間28mm)

(段数、1段の高さは各パネル共通)

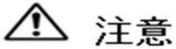


■基本寸法表(各パネル共通)

※板上端高さ:ルーバー3枚パネルは-18mm

柱型	パネル段数	ブロック上施工可否	※板上端高さ H(GL+mm)	中間柱・端部柱・コーナー柱					アルミ枠		
				柱本体長さ (GL+mm)	柱本体埋込部 長さ(mm)	アルミ 角パイプ 長さ(mm)	アルミ 埋込部 長さ(mm)	埋込部 柱長さ 計(mm)	アルミ埋込部 断面サイズ	長さ L(mm)	取付ネジ (アルミ枠 1本当り)
4型(T-6)	4	可	634	681	0	681+170	170	170	35x35x2t	624	3
5型(T-8)	5	可	782	829	0	829+170	170	170	35x35x2t	772	3
6型(T-9)	6	可	930	977	0	977+170	170	170	35x35x2t	920	4
7型(T-11)	7	可	1,078	1,125	0	1,125+170	170	170	35x35x2t	1,068	4
8型(T-12)	8	—	1,226	1,273	100	1,543	170	170	35x35x2t	1,216	4
9型(T-14)	9	—	1,374	1,421	100	1,721	200	300	50x50x1.5t	1,364	5
10型(T-15)	10	—	1,522	1,569	100	1,969	300	400	50x50x1.5t	1,512	5
11型(T-17)	11	—	1,670	1,717	100	2,117	300	400	50x50x1.5t	1,660	5
12型(T-18)	12	—	1,818	1,865	100	2,265	300	400	50x50x1.5t	1,808	6
13型(T-20)	13	—	1,966	2,013	100	2,413	300	400	50x50x2t	1,956	6
14型(T-21)	14	—	2,114	2,161	100	2,661	400	500	50x50x2t	2,104	7

■基礎工事について

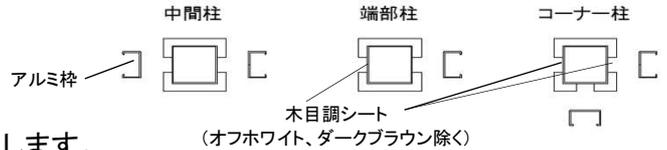


注意

- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤・凝固促進剤・急結剤)などは使用しないでください。アルミなどの金属が腐食する原因になります。非塩素系または非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 指定基礎寸法は必ず守って施工してください。
- 高さH1200超の場合は、基礎石による施工は避け、独立基礎施工として下さい。

■施工手順

1 アルミ枠の取付

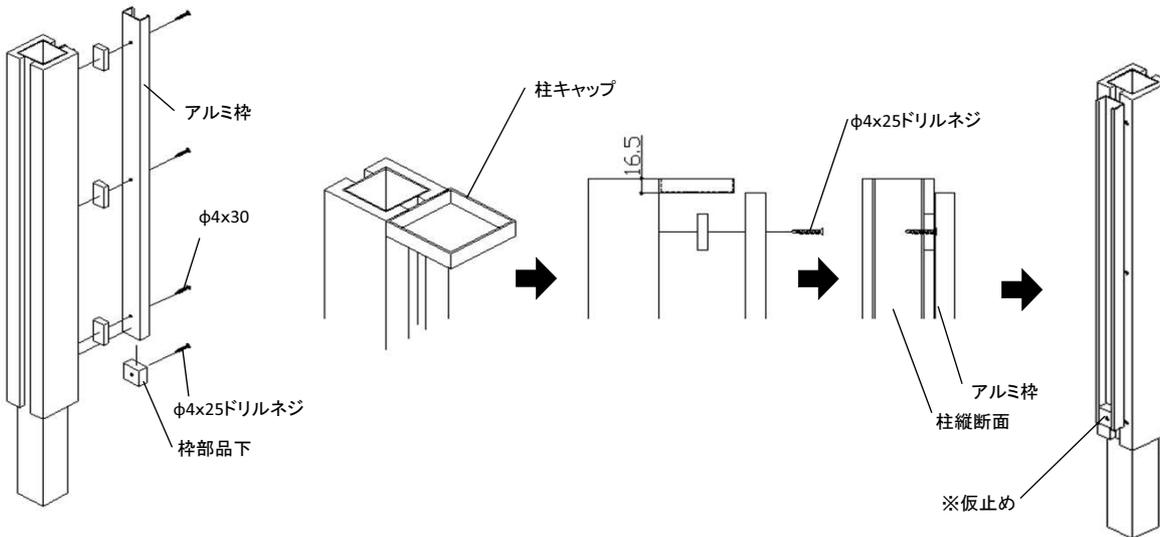


①柱の種類とアルミ枠の取付位置を確認します。

※コーナー柱、端部柱は柱の木目調シート面を外側にします。

②裏返した柱キャップを治具として柱頭に当て、アルミ枠の上端を合わせφ4x30皿ドリルネジで取付ます。

※枠部品下取付用のφ4x25ドリルネジは、パネル材の高さ調整がある場合があるので、確認が終わるまで本締めしないでください。



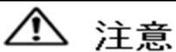
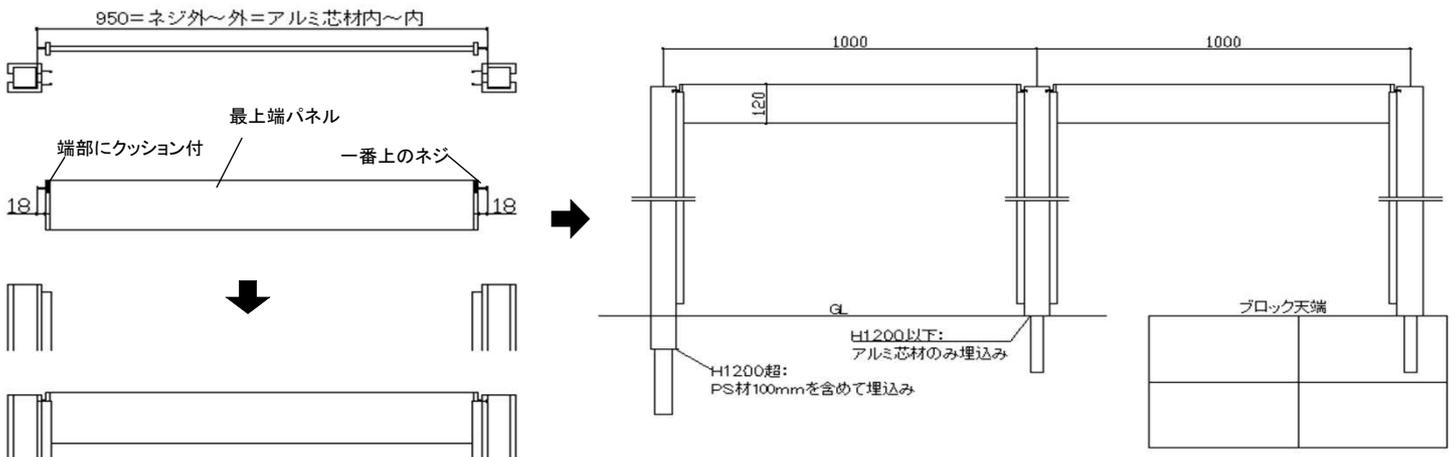
2 柱の施工、基礎コンクリートの打設

①最上段パネルの一番上のネジを、出が約18mmになるまで緩め(両側均等)、ネジ外～外寸法950mmを確認します。

※この時950mm=ネジ外～外=柱芯材内～内となります。

②ネジ外950mmを確認した最上段パネルを途中まで差し込み、柱間(アルミ角パイプ内～内)治具にします。

③垂直・水平を確認して、基礎コンクリートを打設します。



注意

- 温度変化による板材の伸縮に対応するため、柱間の施工寸法確保は重要です。
- 柱の埋込深さは、基本寸法図のとおりにしてください。深さが不足すると、強風による飛散・倒壊事故の要因になる場合があります。
- 柱は必ず垂直に施工してください。

注意

- 必ず下記の取付順を守ってください。
- 基礎コンクリートが完全に硬化してから、パネル本体を取付けてください。

3 パネル本体の取付け

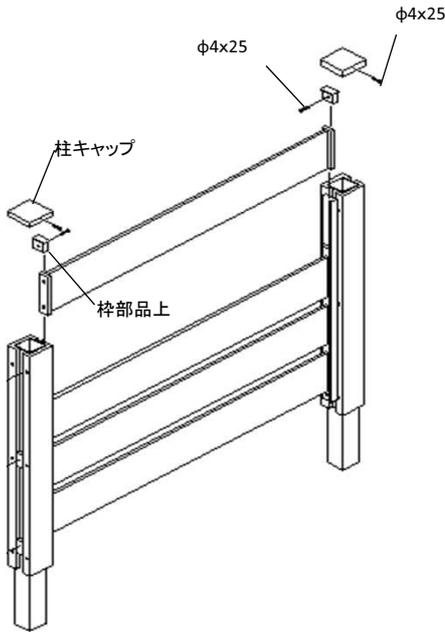
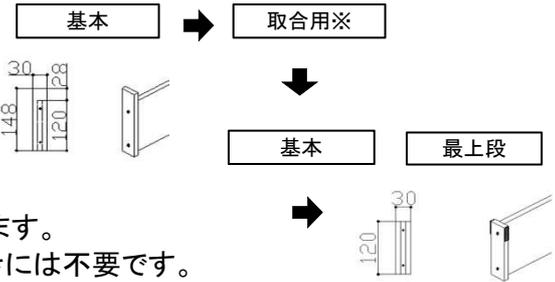
①柱間治具として使用した最上段パネルのネジは元の通り締めこんでください。

②P4のパネル詳細図を確認してください。

基本 ⇒ 取合用※ ⇒ 最上段にパネル枠に挿入します。

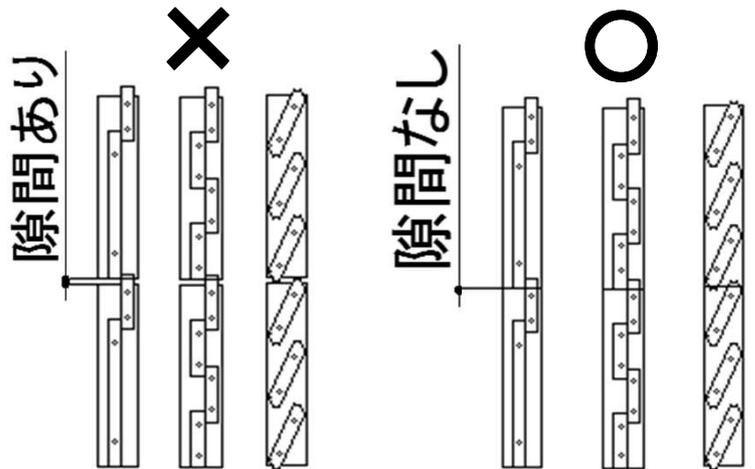
※目隠しタイプの上段に他のパネルを取付ける場合に必要となります。

※全段同一パネルの場合、隙間があるパネルの種類が変わるときには不要です。



注意

- 目隠しタイプ、ルーバー、スライド(固定側・操作側)には、パネルの表裏がありますので、完成シーンの目的、お施主様のご要望に応じて事前に確認願います。
- パネル両端を両手で支え、ゆっくりと所定の位置まで挿入します。片手で乱暴に入れたり、パネルを枠内で落下させたりすると破損する場合があります。
- パネルの枠内での位置は、左右の隙間がほぼ均等になるようにしてください。
- 下図のとおり、エンド板の隙間がないようにしてください。



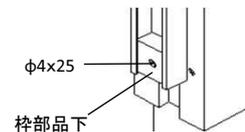
⑤上記注意事項の『隙間なし』を全段数で確認したら、枠部品上を含めアルミ枠の納まり状態を確認します。

※パネル段数分+枠部品上下の合計寸法と、アルミ枠全長には必ず製作誤差が含まれています。

※必要に応じて枠部品下の高さで調整し、φ4x25ドリルネジを本締めしてください。

⑥枠部品上をφ4x25ドリルネジで取付けます。

⑦柱キャップをφ4x25ドリルネジで取付けます。



※スライドパネルを取付ける場合は、**5** を参照してください。

4 パネルの現場切詰めについて

①エンド板のネジをはずし、必要長さを切断します。

②再度、ネジ止めします。

※柱中心距離の切り詰め分と、パネル切詰め寸法は正確に一致させてください。

※エンド板を取付ける際のネジ締めは水平垂直に注意し、ネジが板面に飛び出さないように注意してください。

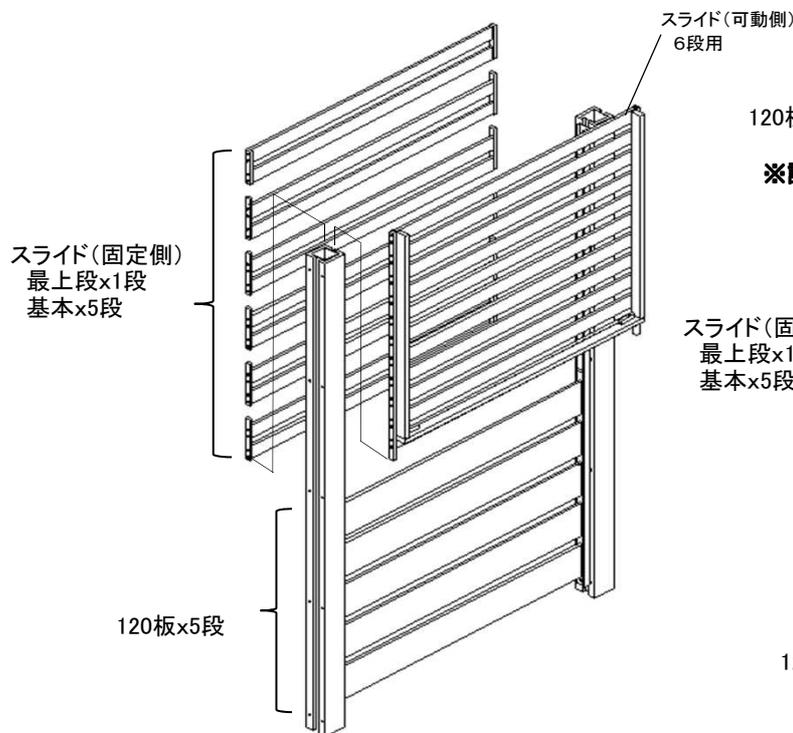


5 スライドパネルの取付け

- ①スライドの操作面を手前側か裏面側かを確認してください。
- ②パネル本体の施工手順の通り、スライドより下段のパネルを挿入します。
- ③スライド(可動側)パネルを挿入します。

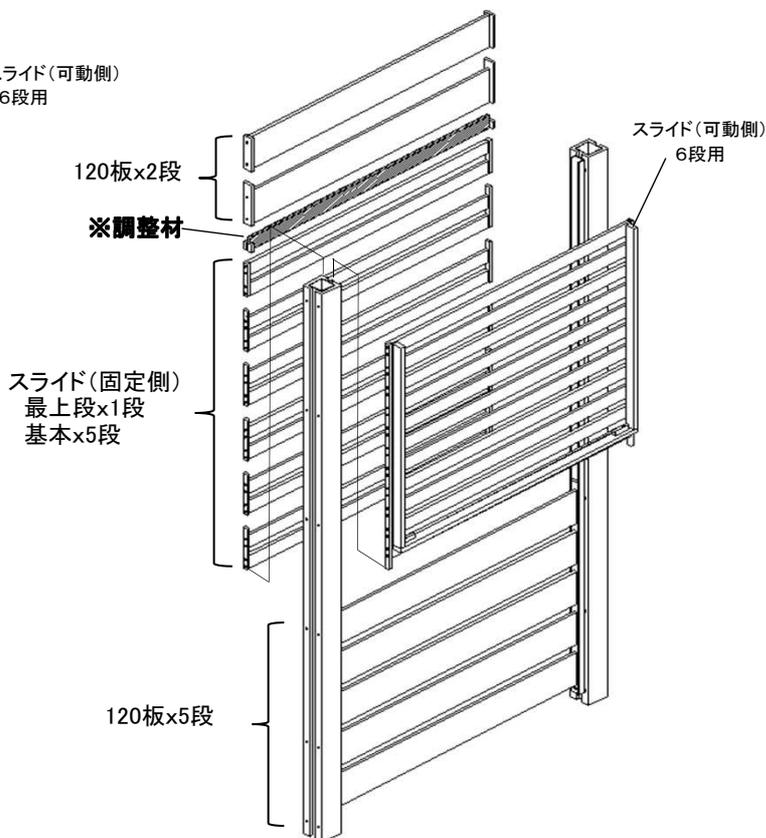
5段用を最上段に取付ける場合

120板x5段+スライド6段用

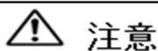


5段用を中間に取付ける場合

120板x5段+スライド6段用+調整材+120板x2段

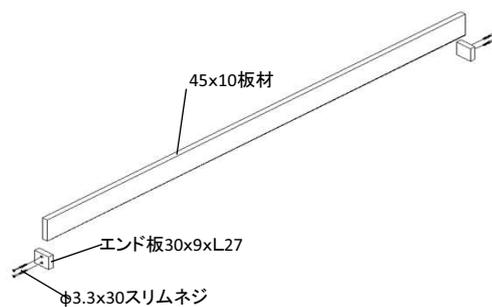


- ④向きに注意して調整材を挿入します。



注意

- 調整材は、スライド最上段がフェンス最上段に取付けられる場合は、使用しません。
- スライドを中間に取付ける場合、下記の2通りとなります。
 - ①スライドより上が『隙間なしパネル、ルーバー3枚パネル』の場合
⇒調整材をそのまま使用します。
 - ②スライドより上に『隙間がある』パネルの場合
⇒右図の通りネジをはずし、エンド板のみスペーサーとして使用します。



- ⑤必要に応じて、調整材より上段のパネルを挿入します。
- ⑥ **3 パネル本体の取付け** の通り、調整・ネジ止めを完了してください。
- ⑦取扱説明書のスライドパネルの操作方法の通りに操作し、問題がないかどうか確認してください。